

# 「WPIスクリーニング結果変換ツール」のご紹介 ～ISR作成支援ツール～

特許審査第三部医療 審査官 安川 聡

## ●はじめに

近年、審査業務の迅速化が積極的に推進されており、知的財産推進計画2007においても、2013年には、特許審査の順番待ち期間を11ヶ月にするという中期目標が設定されているように、各審査官にとっては、これまで以上に審査業務の効率化が求められている状況となっています。

また、企業活動のグローバル化等を背景に、特許協力条約に基づく国際出願（PCT出願）が年々増加しており、国際調査報告（ISR）作成は、審査官にとって重要な審査業務の一つとなっています。しかしながら、ISR作成時に特許文献を引用文献として用いる際には、規定の様式に従って文献情報を記載することが求められており、文献番号、公開日、パテントファミリー情報等の入力・確認作業が、労力・時間を要する作業となっています。

今回、このようなISR作成時の特許文献情報の入力作業を少しでも効率化すべく、ISR作成支援ツールとして、「WPIスクリーニング結果変換ツール」（以下、「本ツール」）を作成しましたので、紹介させていただきます。

## ●本ツールの概要

特許庁にはインハウスWPIデータベースが存在しており、このWPI情報には、文献番号、出願人名、公開日、パテントファミリー情報など、ISR記載形式に必要な情報の大部分が含まれております。

本ツールは、このインハウスWPI 情報を利用することにより、文献番号、出願人名、公開日、パテントファミリー情報などを手入力することなく、ISR記載形式のテキストデータを作成するためのツールです。

操作手順の概要は以下の通りで、簡単な操作のみとなっています。

1. インハウスWPIデータベースより対象案件のWPI情報を取得
2. 得られたWPI情報をコピーして本ツールにペースト
3. 本ツールの「変換」ボタンを押し、記入したい情報を

ダイアログボックスから選択（必要に応じて手入力）

本ツールを利用することによって、図1に示すような変換結果が得られます。以下の例では、出願人名、引用箇所は手入力ですが、それ以外の情報はWPI情報から取得しています。



図1 変換結果イメージ

## ●本ツールの入手

本ツールは、特許審査第三部ホームページ（起案支援関連ツール）又は審査部ポータルサイト（審査関連ツール>PCT起案時）よりダウンロードしていただくことが可能です。

<http://www.third-patent-examination-department.jpo.go.jp/HP/ConvenientTool/wpi/wpi.htm>（庁内限り）

## ●使用方法

1. 「WPIスクリーニング結果変換ツール」の起動

まず、本ツールを起動させます。起動時にセキュリティ警告が出現しますので、「マクロを有効にする」を選択してください。（マクロが無効だと使用できません）

起動すると、以下の画面が表示されます（図2参照）。

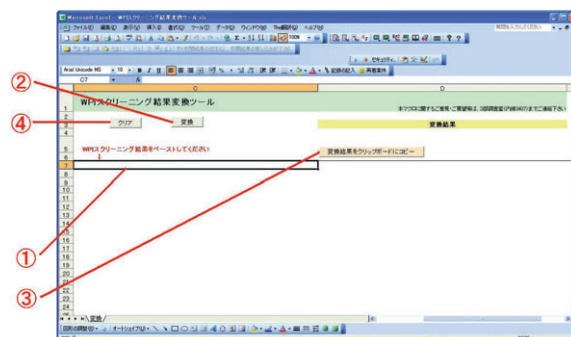


図2 WPIスクリーニング結果変換ツール画面

2. インハウスWPI情報の取得

本ツールが起動したら、次に、元データとなる、対象案件のWPI情報を以下の手順で取得します。

- (1) 「特実検索メニュー」の「インハウスDB」より「WPI文献番号照会」を選択し、WPI文献番号照会を立ち上げる（図3参照）



図3 WPI文献番号照会の立ち上げ

- (2) WPI文献番号照会が立ち上がったら、「文献番号」欄に対象案件の文献番号を入力し、「登録」ボタンを押す

文献番号の入力方法は、画面上の【文献番号入力例】に記載されています。この入力例には、日本の公表公報の例が示されていませんが、日本の公表公報の場合、種別を「W」とする必要がありますのでご注意ください。（例：JP-W-7501212）

- (3) 文献番号を登録したら、右上の「スクリーニング」ボタンを押す（図4参照）

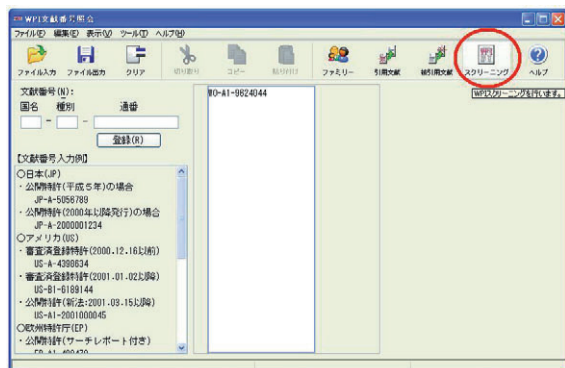


図4 WPI文献番号照会画面

- (4) 「WPIスクリーニング」という別ウィンドウにて、WPI情報が表示される（図5参照）

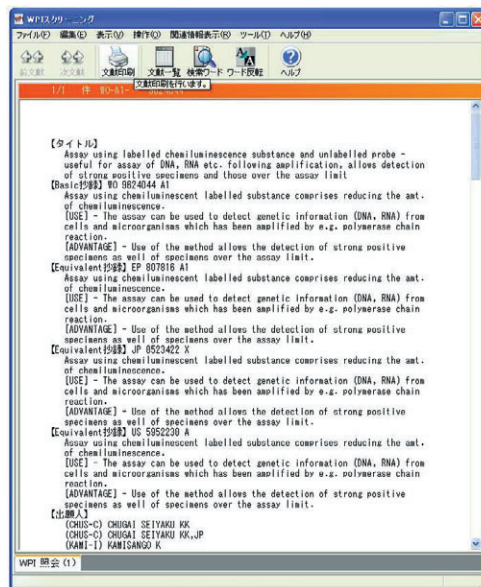


図5 WPIスクリーニング画面

- (5) 表示されたWPI情報を「すべて選択」し、コピーする（「Ctrl+A」→「Ctrl+C」）
- (6) 本ツールの①のセル（「WPIスクリーニング結果をペーストしてください」と記載された下のセル：図2参照）を選択し、コピーしたWPI情報をペーストする（「Ctrl+V」）。

以上で、対象案件のWPI情報の取得は完了です。

3. 変換の実行

WPI情報の取得が完了したら、の「変換」ボタンを押して、変換を実行します。以下の順でダイアログボックスが表示されますので、それぞれ必要な情報を指定、あるいは入力します。

- (1) 出願人名（図6参照）

出願人名を指定します。WPI情報から抽出された出願人名が表示されますので、適切なものを選択し、「OK」を押してください。

日本語で記載する場合や、適切な出願人名がない場合には、「その他（直接入力）」の下の空欄に内容を入力し、

「OK」を押してください。



図6 出願人名

(2) 引用文献 (図7参照)

パテントファミリーの中から、引用文献として用いる文献を指定します。WO, EP, US, JPのA公報 (A1, A2含む) が表示されますので、適切なものを選択し、「OK」を押してください。

WO, EP, US, JP 以外の文献を用いる場合や、目的の公報番号が表示されていない場合は、「全候補から選択」を押せば、全パテントファミリーから選択することが可能です。



図7 引用文献

(3) パテントファミリー (図8参照)

パテントファミリーの一覧が表示されますので、列記したいファミリー情報にチェックを入れ、「OK」を押してください。

「WO/US/EP/JPのみ記入」を押すと、チェック内容に関係なく、WO/US/EP/JPのファミリー情報のみが列記され、「全部記入」を押すと、チェック内容に関係なく、全ファミリー情報が列記されます。

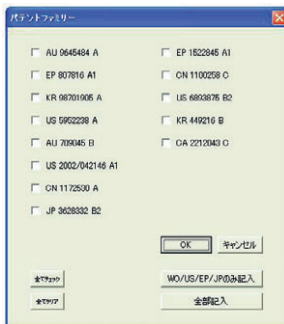


図8 パテントファミリー

(4) 引用箇所記入 (図9参照)

引用箇所を記入して、「OK」を押してください。「全文」を引用を押すと、引用箇所として「全文」が記入され、「スキップ」を押すと、何も記入されません。



図9 引用箇所記入

4. 変換結果

3. (1) ~ (4) における情報の指定が終了すると、変換結果が所定のセル (「変換結果」の下のセル) に表示されます (図10参照)。

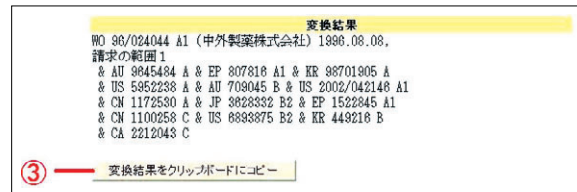


図10 変換結果

この「変換結果をクリップボードにコピー」ボタンを押すと、変換結果がクリップボードにコピーされます。書式情報を持たないテキスト情報のみがコピーされますので、書式を変更することなく、そのままPCT起案書にペーストすることが可能です。

5. 変換結果のクリア

作業が終了したら、このクリアボタンを押すと、初期画面に戻ります。

● 注意点

本ツールを使用されるにあたっては、以下の点にご注意いただく必要がありますので、予めご了承ください。

(1) 本ツールでは、以下の場合を除き、WPI情報どおりに文献番号、文献種別が表記されます。WIPO Standard ST.16等に基づく表示形式を考慮していませんのでご注意ください。

〈WPI情報が変換される場合〉

#### WO公報

- ・年号と番号の間に“/”を挿入
- ・番号が5桁の場合、1桁目に“0”を補充  
例) WO 9624044 A1      WO 96/024044 A1

#### US公報

- ・A1公報の場合、年号と番号の間に“/”を挿入  
例) US 2002042146 A1      US 2002/042146 A1

#### JP公報

- ・公開公報、公表公報の場合、年号と番号の間に“-”を挿入
- ・文献種別が“W”の場合、“A”に変換  
例) JP 7502121 W      JP 7-502121 A
- ・文献種別が“X”の場合（再公表の場合）、文献として認識しない

(2) インハウスWPIデータベースに収録されていない案件については、WPI情報を取得できないため、本ツールを使用することができません。WPIの収録対象は、医薬、農薬等の化学分野では1971年以降、電気分野（Hセクション）は1982年以降、その他の分野は1996年以降の公開案件となっており、それ以前の公開案件は収録されていません。

(3) エクセル終了時に「変更を保存しますか？」との表示が出ますが、毎回起動時に変換結果が自動的にクリアされますので、どちらを選択していただいても結構です。

(4) 本ツールは、正常に動作するよう注意して作成していますが、誤変換等、不具合が発生する可能性があります。あくまで補助的なツールであることをご理解いただいた上で、変換内容の確認（誤変換の有無等）は、各自で行っていただけますようお願いいたします。

#### ●おわりに

以上、本ツールの紹介をさせていただきました。

文章で記載すると長くなってしまいますが、実際に使用していただければ、簡単に使用方法をご理解いただけると思います。

本ツールが、少しでも皆様の審査業務効率化のお役に立てれば幸甚に存じます。よろしければ、ぜひ一度お試しください。

## Profile

安川 聡（やすかわ さとし）

平成12年4月 特許庁入庁（医療配属）

平成16年4月 審査官昇任

調整課を経て平成19年1月より現職

（編集委員より）

庁内にはいろいろなツールやホームページがありますが、これら便利なツール等の情報提供・共有に少しでも貢献できたらと考え、このような「便利ツール紹介」というコーナーを始めましたがいかがでしょうか。今後も誌面を通じて紹介することを考えておりますので、便利なツールやページがございましたら編集委員までお知らせください。